

# 指定管理者制度導入施設の将来ビジョン

施設名	大分県県民の森施設(青少年の森、平成森林公園、神角寺展望の丘)
所在地	大分市大字廻栖野 外
県の所管部局(課・室)	農林水産部 森との共生推進室
設置年月日	昭和60年3月30日(設置から37年0か月)※令和4年4月1日現在
設置目的	森林の持つ優れた自然を生かして、保健、休養及びレクリエーションの場を提供し、森林に関する学習活動を促進し、その他森林の利用を増進することにより、県民の健康的な生活の確保を図るとともに、森林に関する県民の理解を深める。
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日

## 【検討結果】

### 施設の今後のあり方

存続 (利活用)	存続 (整理統合)	廃止
理由	<p>当該施設は大分県の中央に位置し、森林の持つ優れた自然を生かして、県民の健康的な生活の確保を図るとともに、森林に関する県民の理解を深めることに寄与するなど、県民の日常生活に重要な役割を果たしている。</p> <p>さらに、四季を通じたイベントやキャンプ・サイクリングといった保健・レクリエーション利用、森林環境教育での利用など、様々な取組を通じて年間平均15万人以上が当該施設を利用している。また、令和3年度に実施したアンケートによる当該施設の満足度調査でも約88%が「満足」と「ほぼ満足」と回答しており、県民からの需要や評価も高い。さらに、年2回以上利用する方が約6割を占めるなどリピーターの定着も見られる。</p> <p>このため引き続き、多くの県民が身近に親しむことができる保健、休養等の場として利活用を進めていく必要がある。</p>	
管理 方法の 検討	<p>以下により、今後も「指定管理者制度」を継続</p> <p>① 広大な敷地面積を有しており、林道の草刈り、敷地内の樹木整備をはじめ、直営では施設管理が難しい ② 四季ごとのイベント開催や集客に向けた効果的な広報など民間のノウハウを活用していくメリット、必要性が大きい</p>	

### ビジョンの設定期間

ビジョンの設定期間	令和5年度～令和14年度
次回策定(中間見直し)	令和9年度(令和10年度～令和14年度)
次回指定管理者公募予定	令和5年度

## 存続の場合

### 1. 目指すべき施設像及び利用者像等

施設像	<p>【広大な自然を多種多様に楽しめる施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広大な森林を適切に整備することにより、利用者が豊かな自然環境を楽しむとともに、森林への理解を深めることができる施設。</li> <li>・広大な自然の中でのキャンプ、ウォーキング、サイクリングやお花見など、変化する県民のニーズに合わせて、幅広い利用ができる施設。</li> <li>・四季折々の自然の美しさを活かしたイベントの開催やHPIによる情報発信、バリアフリー化により、県民が何度も訪れたいような施設。</li> </ul>		
利用者像	<p>【子どもからお年寄りまで幅広い世代の利用者】</p> <p>大分県の中心部という地理の良さを活かして、サイクリング・マウンテンバイクといった森林空間を活かした新たなレクリエーションを行う若者や休日にキャンプ・森林に親しむイベントなどを楽しむ家族連れ、平日に森林浴や自然散策を楽しむ年配の方、林業に関心を持ち森林について学習を行う方など、様々な世代の人を対象とする。</p>		
定量的 目標達成指標	①	年間利用者数の増	令和14年度 172,000人/年 (過去3年平均:151,356人/年) (参考R1実績:152,717人/年)
	②	有料施設利用件数の増	令和14年度 6,300件/年 (過去3年平均:4,573件/年) (参考R1実績:5,872件/年)
定性的 目標達成指標	①	小学生から高齢者までの幅広い利用者確保のための広報の充実や利便性の向上	
	②	新たな利用者獲得のための環境整備と当該施設等のさらなる活用	
	③	育樹祭を契機とした森林・林業教育(木育含む)での活用促進	

## 2. 目指すべき像を達成するための課題とその解決策、実施方法・実施時期（解決への優先順に記載）

課題1	人口減少・少子高齢化に関する課題（必須）
	人口減少・少子高齢化により利用者は減少すると考えられるため、今後も幅広い世代の利用者を確保する必要。
解決策	利用者の世代に合わせたアプローチを実施
実施方法・実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に高齢者層に対して、新聞広告やポスティングなど活字による広報活動の継続実施（毎年）</li> <li>・主に若中年層や子育て世代に対して、HPやSNSなどネットでの広報活動の実施（毎年）</li> <li>・ネット予約やキャッシュレス化など利便性向上に向けた取組の推進</li> </ul>

（参考）	令和3年度(2021年度)	令和12年度(2030年度)	令和27年度(2045年度)
予測利用者数(人)	150,973	164,806	148,993
直近年度比		109.16%	98.69%

課題2	新たなニーズへの対応に関する課題
	<p>利用者の新規開拓に向けて、アウトドアなど新たなニーズへの対応強化が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型テントの普及により1件あたりの占有面積が拡大しているが、現在のテントサイトでは利用者のニーズに対応できない。（参考:キャンプ場調査所見 有限会社山溪(平成30年)）</li> <li>・マウンテンバイクコースの利用頻度を高めるための、コース等の整備が必要である。</li> </ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区画のないフリーテントサイトを造成。</li> <li>・マウンテンバイクやサイクリングなどの集客が見込める大会を新たに開催。</li> <li>・新たなコースの整備と利便性を高めるための駐車場の整備。</li> </ul>
実施方法・実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーテントサイトの造成(令和5年度予定)</li> <li>・マウンテンバイクでの周回レースの開催(令和4年度～)</li> </ul>

課題3	森林整備・施設管理に関する課題（必須）
	<p>広大な面積の森林を引き続き適正に管理することが必要。また、施設の設置から37年が経過し、施設・設備全般の老朽化が進行。</p>
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共造林事業等による森林整備や県有林の利活用の推進、森林ボランティアによる保全活動、森林整備に必要な林道の維持、修繕等を引き続き行う。</li> <li>・計画的な施設・設備の更新を行い、早期に対応することで施設・設備の長寿命化を図る。</li> </ul>
実施方法・実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林所有者に適正な森林整備を行うよう働きかけ（随時）</li> <li>・作業道等の再利用（随時）</li> <li>・林道橋の点検・補修（令和5年度まで）</li> <li>・耐用年数を越える施設の維持管理方法の検討（令和14年度まで）</li> </ul>